
穴 表の世界

Mr.あいう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

穴 表の世界

【Nコード】

N8243H

【作者名】

Mr. あいう

【あらすじ】

世界は終わった、ほんの些細な、始まりで。

それは、ほんの些細な、世界の終わりの、始まりだった。

とある空き地に、「穴」が生まれた。

それは人々が普段気にもしないようなところへ、
それでいて普段目にはしていない、そんなところへ。

その穴には底がない。

あるのは、虚ろのみ。

それは、まるで昔からそこにあつたかのように存在していて、
そこに、これからも存在し続けるであろう存在感を放っていた。

人々は、その穴を見ると、不意に喪失感に襲われた。

僕はこの穴に何を投げ込んだのだろうか？

私はこの穴に何を奪われたのだろうか？と、

そして、

この穴に物を投げ込んだら、どうなるのだろうか？と、
この穴に身を投げたら、どうなるのだろうか？と、

多分答えは、みんな知っていた。

そんな日に限り、ペンやハンカチといった、
普段目にも止めないような物がなくなっていた。

ごっそりと、

まるで何かに奪われたかのように。

まるで欲望に負けて投げ込んだかのように。

その穴は次第に大きくなり始め、

やがて嫌でも気にするような大きさになってきた。

そしてどうやらその穴は世界中にあるらしく、

その穴を、とある学者が調べ始めた。と思う。

いや、気のせいだろう。

この世界に、学者なんて数えるほどしか、いない。

いや、奪われたのかも。

わからない。

わかれなない。

何か、知っている気がした。

人々全員が、忘れている感覚。

人々は思う。

世界は、こんなに広がったか？

会社や学校にはあいた机が目立つし、

誰も住んでいない家が、いやそもそも管理されていない家が多すぎる。

居るはずだ、もっと人がこの世界には要るはずだ、もっと人がこの世界には。

そんな疑問が浮かんでは消え、私はふと、止まった。

待って、何をそんなに悩むことがあるの？

そもそも、何を悩んでいるの？

こんなの、当然。

だって、

この世界に、人間なんて私一人しかいない。

ゆっくり穴に近づくと、

穴が虚空をあけていた。

その穴は、もうこの世界の90パーセントを覆っている。

待って、

「もう」って何？

こうなる前があったの？

私はどうやって生きていたの？

私は、みんなは、

存在を、どこに消したの？

誰を、穴に投げ込んだの？

いらいらする奴？

邪魔な奴？

知らない奴？

それとも、自分？

全てなかったことにできるなら、さぞ便利だろう。

全てがないことになって、

一人残った私は人が世界にいたことさえ忘れた。

私じゃない私が、そんなことを考えていて………

そんなくだらないう問自答も引きずって、私は穴に身を投げた。

そうやって、世界は終わった。

世界は人々を、忘れた。

(後書き)

穴裏の世界へ、続きます・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8243h/>

穴 表の世界

2010年12月28日14時56分発行